

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内科学		PSF22-010 OSF22-009 HSF22-011	(理.作) 必修 (福.人) 選択	2	2	集中
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
竹川 正純 他		C301	masazumi.takekawa		メールにて対応	
授業の目的・概要						
本科目が属する専門基礎科目群臨床医学系科目では、基礎医学系科目で身体の正常構造・機能を修得した前提下で、理学療法・作業療法を行う上で必要となる病態・診断・治療について学ぶ。 臨床医学系科目の中心である内科学では、内科的な診察・診断・治療が分かるような基本的知識を習得し、主要な疾病・病態に対しての理解を深め実際の臨床に対応できるような能力を身につけてもらう。おもに循環器、呼吸器、消化器、代謝疾患を中心に診察、診断、治療法を学習してもらう。						
授業形式・方法						
☒ 対面授業 ☒ 講義 ☐ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☐ 実技 ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ その他 ()						
学習上の助言						
まず必要な基本的知識を中心に学習し、高度なことはそのあとで良いと思う。 循環器、呼吸器、消化器、内分泌器について、解剖学、生理学の教科書等で予習・復習すること						
教科書						
メデイカルスタッフのための内科学 第4版/ 著・編：伊藤進、森 博愛/ 医学出版/ 2018						
参考書						
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学/ 第4版/ 編：前田 眞治/ 医学書院/ 2020						
外部教材						
なし						
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	主な内科疾患の病態について理解し、説明することが出来る。				HSU(1)～(6)	
②	主な内科疾患の症状及び診断について理解し、説明することが出来る。				HSU(1)～(6)	
③	主な内科疾患の治療について理解し、説明することが出来る。				HSU(1)～(6)	
④						
⑤						
⑥						
授業計画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	臨床医学総論（１）：内科疾患の診断法、主な症状、検査法、治療について学ぶ		講義	教科書 P1～14 の内容の予習・復習	4	
2	医学総論（２）：前回の続き		講義	教科書 P15～20 の内容の予習・復習	4	
3	感染症、アレルギーについて学ぶ		講義	教科書 P21～42 の内容の予習・復習	4	
4	自己免疫疾患、膠原病について学ぶ		講義	教科書 P43～62 の内容の予習・復習	4	
5	循環器疾患（１）：虚血性心疾患、心不全、不整脈について学ぶ		講義	教科書 P63～74 の内容の予習・復習	4	
6	循環器疾患（２）：不整脈、高血圧、動脈疾患について学ぶ		講義	教科書 P75～106 の内容の予習・復習	4	
7	呼吸器疾患（１）：COPD（慢性閉塞性肺疾患）気管支喘息等について学ぶ		講義	教科書 P107～124 の内容の予習・復習	4	
8	呼吸器疾患（２）：肺癌、肺線維症等について学ぶ		講義	教科書 P125～138 の内容の予習・復習	4	
9	消化器疾患（１）：消化器疾患の症状・診断法、消化器疾患等について学ぶ		講義	教科書 P139～156 の内容の予習・復習	4	
10	消化器疾患（２）：肝疾患、胆道疾患、膵臓疾患等について学ぶ		講義	教科書 P157～180 の内容の予習・復習	4	
11	内分泌疾患：視床下部・下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患等について学ぶ		講義	教科書 P181～202 の内容の予習・復習	4	
12	代謝疾患：糖尿病、脂質異常、痛風、メタボリックシンドローム等について学ぶ		講義	教科書 P203～225 の内容の予習・復習	4	
13	血液疾患（１）：血液の働き、貧血等について学ぶ		講義	教科書 P227～240 の内容の予習・復習	4	
14	血液疾患（２）：白血病等について学ぶ		講義	教科書 P241～256 の内容の予習・復習	4	
15	腎・泌尿器疾患：腎不全、腎炎、糖尿病性腎症、腎腫瘍等について学ぶ		講義	教科書 P257～273 の内容の予習・復習	4	
試	筆記試験（期末テスト）					

【2024 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床医学系】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	80	80
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業に関連する課題を提出してもらう。 実施方法と注意点については講義内で説明する。 内容を検討して評価する。 （100％ の評価とする）			課題の添削・返却等、必要に応じて対応する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		志 茂 聡					
教員の実務経験		内科医として 40 年の臨床経験を持つ。志茂聡は、医学部にて博士号（医学、山梨大学）を取得しており、本学（専任教員）および山梨大学医学部解剖学講座構造生物学教室（非常勤講師）にて長年医学教育に携わってきた解剖学教育の専門家である。医療従事者としての実務経験は 19 年である。					
実践的授業の内容		実臨床で必要な疾患の病状の理解をしてもらい、身につくようにして国家試験をクリアしてもらう。					
そ の 他		今後の新型コロナウイルス感染症などの状況によって再度シラバスが変更される可能性がある。					